

伊勢市統計レポート



統計とは？

日本では、社会や経済の実態をとらえるための様々な統計が定期的に作られ、公表されています。今回は、対話形式で、統計とは何かをみていきます。

統計高校の統計部に所属している「りっこ率子さん」と「まなぶ学くん」が統計について話しています。



いろいろな統計調査が行われているけど、そもそも「統計」ってなんだろう？



それじゃあ、今回は統計について調べてみよう。

1. 統計とは

「統計」＝「集団」の「傾向・性質」を「数量的」に明らかにすること



集団って、たとえばうちのクラスでもいいのかな？

もちろん。学くんのクラスのデータを見てみようか。例えば、英語のテストの点数はこうなるね。



出席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	76	88	81	78	86	87	90	82	83	75
出席番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
得点	80	78	79	76	82	85	83	81	86	80

このクラスの英語のテストの平均点は、81.8点。



平均点がうちのクラスの傾向や性質を表してるんだよね。うーん…あ、前回の平均点と比べれば、うちのクラスの実力がどれだけ伸びたか調べられる？

平均点は、集団の傾向・性質を数量的に表したもので、「統計」の定義に当てはまるよ。



そうだね。統計は、同じ集団の時間的な変化を捉える指標になるよ。他にも、他のクラスの平均点と比べれば、学くんのクラスが学年で何番目くらいの実力があるのかも調べられるよね。



統計を使えば、異なる集団同士を、数値的に比較することができるってこと？

そのとおり！ それに、クラスの平均点と自分の点数を比較すれば、クラス内での今の自分の実力もわかるよね。つまり、統計の数値は、現在の状態を正しく捉えるための指標にもなるってことだね。



2. 統計調査



国勢調査や経済センサス-活動調査、農林業センサス…。日本では、国が様々な統計調査を行っているよね。

統計調査で得られた様々なデータは、国の統計を作るために使われているんだって。



国は何のために統計を作っているんだろう？

国の統計には、いくつかの大切な役割があるよ。



国の統計の役割

- 国民自身が国の状態を正しく知る
人々の暮らしは豊かになっているのか、お金や資源は効率的に使われているのか、生活に困っている人がどれくらいいるのか
⇒国民の暮らしの実態や経済社会全体の動き等国の状態を表す客観的な数字となる
- 国や地方行政の運営を公平・公正に行うための基準を得る
どこに公共施設を建設するか、誰に向けてどんな公共サービスや補助金を提供するか
⇒行政を行う上で多くの人々が納得できる客観的な基準となる
- 国際社会の中で日本の置かれた状況を正しく理解する
日本は世界何番目の人口か、どの国から天然資源を輸入しているのか、何をどれだけ輸出しているか
⇒日本を含め、世界の国々が互いの状況を正しく知るための共通語となる



もしも統計がないと、国が今どんな状態なのかわからなくなるんだね…。

うん。もう少し補足すると…例えば、国勢調査の結果が何に使われるか知ってる？



衆議院議員選挙の小選挙区の決定とか、地方交付税交付金の配分基準とか、いろいろな施策の基準になるんだよね。

そうだね。ほかにも、都市計画の策定や、防災対策、社会福祉施策にも使われているよ。日本の将来人口・世帯数の推計や、社会保障の基準になる平均寿命も、国勢調査の結果を分析して得られるんだよ。つまり…。



あっ、そうか。統計がなくなったら、施策の基準もなくなるのか。

もしそうなったら、私たちの暮らしに関わる重要なことが、担当者の個人的な勘や判断で決められてしまうかもしれないね…。



統計は、僕たちの暮らしを支える大切な指標だってことがよくわかったよ。